

JSP-6W PC床版の設計

概要

JSP-6Wは、道路橋示方書・同解説Ⅰ共通編、Ⅱ鋼橋・鋼部材編、Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編(平成29年11月)に基づき、鋼少数主桁形式のプレートガーダー橋に用いるPC床版の橋軸方向および橋軸直角方向の設計を行います。なお、プログラムでは橋軸直角方向をPC・PRC構造、橋軸方向をRC構造として設計される床版を示します。

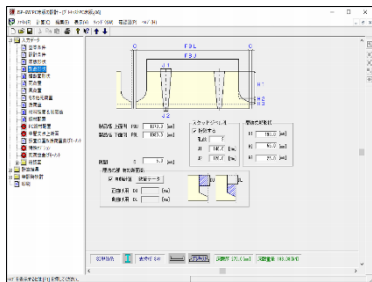
※現在はPC構造のみ対応しています。PRC構造については今後検討・対応予定です。

特長

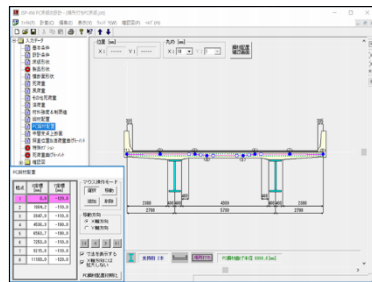
- ① 鋼桁に用いられる場所打ちPC床版およびプレキャストPC床版の設計ができます。
- ② 床版の設計曲げモーメントについて、死荷重は設計要領第二集(東・中・西日本高速道路株式会社)に基づき、固定梁及び連続梁にモデル化したFRAME計算にて算出します。また、活荷重は道路橋示方書Ⅲに基づいて算出します。なお、ユーザ定義の活荷重曲げモーメント式あるいは直接曲げモーメント値を入力することもできます(正曲げ、負曲げ同時考慮可能)。
- ③ 中間支点上断面について、主桁作用による断面力を用いて、橋軸方向の鉄筋を鋼桁断面に算入した合成抵抗断面にてひび割れ照査を行うことが可能です。
- ④ プレキャストPC床版でポステン鋼材を使用した設計ができます。また、プレテン鋼材とポステン鋼材を併用した設計もできます。
- ⑤ プレキャストPC床版の架設時の検討(吊り上げ時検討)ができます。
- ⑥ 左右床版幅の異なる形状を考慮した設計ができます。
- ⑦ 鉄筋拘束力の算出はコンクリート標準示方書に基づいて算出します。
- ⑧ SLJスラブ工法^{※2}に対応しています。

※2 SLJスラブ工法は、オリエンタル白石株式会社が開発した工法です。

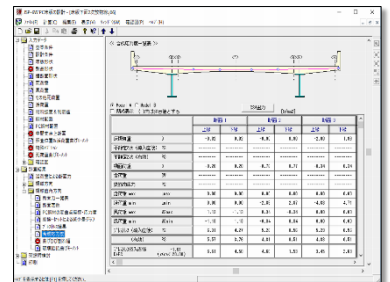
画面例



入力/製品形状



入力/PC鋼材配置



計算結果/橋軸直角方向一合成応力度

制限

主桁本数(鈹桁) : 10主桁	主桁本数(箱桁) : 5主桁
床版形状 : 床版下面は床版厚一定の直線形状(片持部、ハンチ部を除く) または床版下面2次放物線形状	
緊張方向 : 一方向緊張(左引き/右引き/交互引き)	
主桁形状 : 鈹桁および開断面箱桁(中間支点上断面のひび割れ照査時)	

動作環境

Windows 8.1/10

Microsoft[®]、Windows[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

販売価格

使用許諾料	600,000円 (税込価格: 660,000円)
追加1ライセンス料	60,000円 (税込価格: 66,000円)
サポートサービス料(必須) ^{※3}	10,000円 (税込価格: 11,000円)/年間

※3 サポートサービス料には、問合せサポートおよびマイナーバージョンアップ料が含まれています。